

4. 寄稿:故郷との新たな出会い (アーティスト・クリエイター 丸美由紀)

私の故郷の五島列島福江島は、長崎県の西方に置する離島で、18歳まで住んでいた。以前はよく帰省していたが、両親が離婚し母が不在になってからは行く機会が無くなった。そうした変化から、「故郷」とは生まれ育った場所だけでなく、「母の存在」そのものが故郷なのだと実感した。



高浜海水浴場

地元や行政の方々には、父が生前に大変お世話になった。子供が小学生になり、少し時間に余裕が出来始めた頃に、「地元への恩返し」を考えるようになった。当時、SNSで古代史研究家達が五島について研究しているものを見かけた。私は以前から、五島はインスピレーションを受ける神秘的な場所であると感じていた。ので、「もしかして、歴史を紐解くと何か面白いものが出てくるかもしれない」と思った。



五島列島
歴史ミステリー

そこで早速、2017年の9月に、SNS上に「五島列島歴史ミステリー」というグループサイトを立ち上げた。

<https://www.facebook.com/groups/mystry510/about>

FACEBOOK(以下FB)のグループサイトは、あるテーマに対して関心を持つ不特定多数の人々が集まり、情報を寄せてくれるので、何かを調査したり研究する際の情報収集に役立つ。このSNSの特性を活かし、五島の古代史情報を集め、新たな観光資源や観光ツアーを創出するという、これまでに無い新しいプロジェクトを開始した。



堂崎天主堂

五島列島の古代史研究に関しては、古代史研究家の籠谷道明先生や、五島出身の医師の五島高資先生による長年の研究内容と、今は亡き松野尾辰五郎氏の著書「日本国家の起源—五島列島に実在していた高天原」の内容をベースにし、ネット上に集まった情報を加えて仮説を立てた。そして、情報収集開始から2年後に、サイトに集まった情報をレポート化し、五島市にプロジェクト概要の提示と、支援の要請を行った。



弘法大使空海像

情報をまとめていくと、いくつかのキーワードが浮き彫りになった。失われたユダヤ十支族、ヘブライ、空海、倭寇、平家(=五島家)、キリシタンなどだ。これらは共通要素で繋がっていると直感した。

〈五島列島 歴史ミステリー概要〉

世界各地の古代遺跡、ピラミッド山、磐座、一宮は、全て12000年前の極点であるハドソン湾極の緯度・経度に基づき位置決定されている。12000年前に極移動があり、それ以前はハドソン湾に北極があった。6本の地球周回レイラインで結ばれ、そのうち2本が日本を通過し、鹿島神宮と伊勢内宮を位置決定している。



写真提供:籠谷道明

